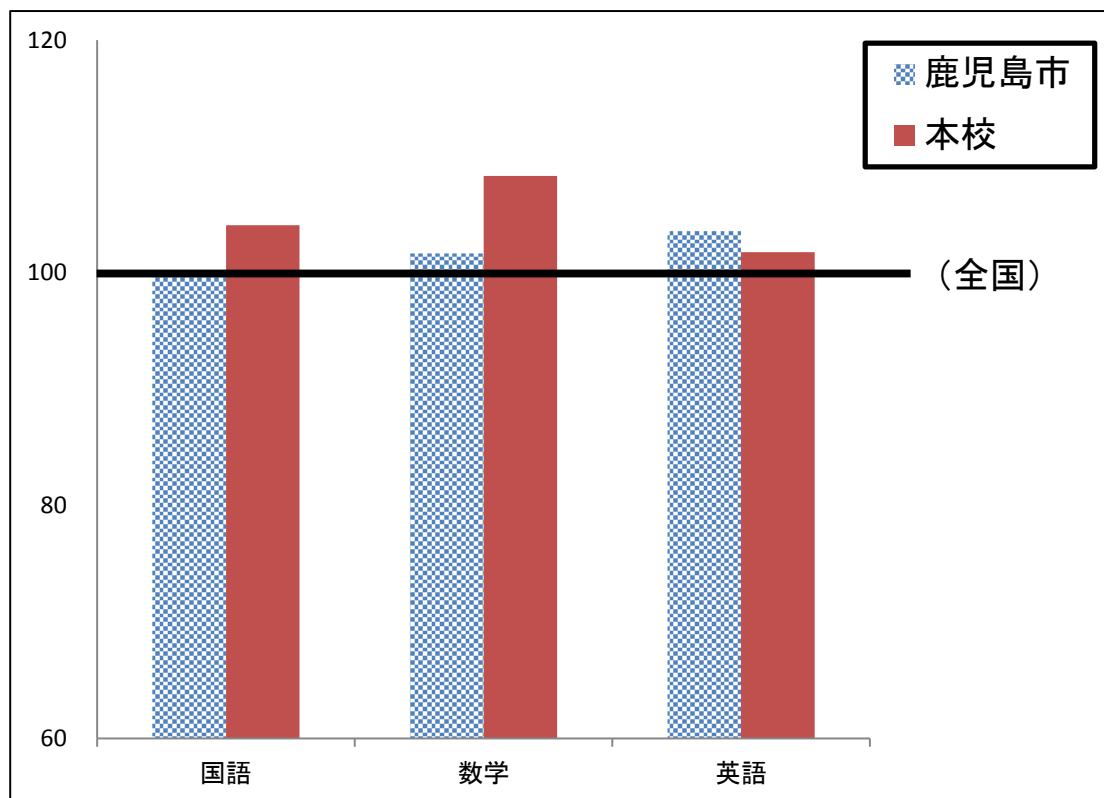


平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査結果について

天保山中学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

全体的に全国・市の結果を上回りましたが、話すこと、聞くこと、読むことについて課題が残りました。授業において、積極的に話し合ったり、新聞のコラムを活用してよい文章に触れさせつつ自身の考えを文章に表したりする活動をさらに充実させていきます。

〈数学〉

全国・市を上回る結果でした。ただ、総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈する問題に課題が残りました。文章問題を読み取らせる活動を増やしたり、自分の考えを書いたり発表したりする機会を取り入れたりすることで、改善を図っていきます。

〈英語〉

全体的に全国を上回ったものの、聞くことと話すことに関して課題が残りました。日常的な話題について書かれたまとまりのある文章を聞いたり読んだりすることや、それについての質問に答える時間をより多く設定することで、表現力の向上を目指します。

〈全体的に〉

学校では、基礎的・基本的な学力を定着させ、思考力や判断力等の向上を図るために、授業や指導方法の工夫・改善に取り組んでいきます。生徒質問紙では、全国や県と比較して、家での計画的な勉強や平日の家庭学習の時間が不足しているようです。ご家庭でも、学習計画や学習時間の確保にご協力をお願いします。